

## 一橋日本史 予想模試④ 解答

### I

1 戦いが無くなって御恩と奉公の主従関係に基づく所領の増加が無いところに、血縁関係を重んじた惣領制を基盤とした分割相続が代を重ね、所領が細分化されて収入が激減していた。さらに、長い間、在地の生産物に経済的な基盤をおいてきた御家人たちは、急速に浸透していった貨幣経済に対処しきれずに大きな損失を被っていて、元寇がそれに拍車をかけた。2 道路を挟んで向かい合う商工業者による両側町が生まれ、また町組や惣町と呼ばれる連合体も形成された。それらは富裕な商工業者である町衆から選ばれた月行司により自治的に運営された。3 隣組。回覧板。4 特定の華族から選ばれる皇室の慣例を破り、初の平民出身皇太子妃である美智子妃が「憧れ」として国民の注目の的となるミッチーブームが起り、パレードの実況生中継を見ようとした消費者によってテレビの売上げが急伸した。(365 字)

### II

1 大戦景気によって急激な都市化・大衆化が惹起され、第二・三次産業を職業とする新中間層を媒介として洋食や文化住宅などの近代的な欧米風の文化が普及し、またタイピストなどに従事する職業婦人も拡大してモボ・モガも闊歩した。さらに大衆雑誌や総合雑誌、円本などの低価格本、ラジオ放送や新聞などのマスメディアがそのような大正デモクラシーの普及を促した。2 都市人口の急増により賃金上昇を物価上昇が上回って実質賃金が低下し、普通選挙を求める大正デモクラシーの風潮や、男子労働者人口の激増、ロシア革命による社会主義思想の流入およびILOの結成を背景として様々な社会運動が発展した。3 箕面有馬電気軌道。4 賃金水準には下方硬直性という性質があり、賃下げ反対の労働争議も激化していた。また恐慌過程で解雇されたのが大戦中に人員確保のために雇われた若年労働者であったために在職していた熟練労働者の存在によって賃金が高止まりしていた。(399 字)

### III

1 日本最初の労働者家計調査を実施した。2 「くにあゆみ」。日本国憲法の精神に則った民主教育の理念を掲げる教育基本法では個人の尊厳の尊重を理念に掲げ、教育の機会均等や男女共学の原則、義務教育9年制をうたった。そして、同年に学校教育法が定められ、旧来の複線型の教育体系に代わって六・三・三・四制による単線型の教育体系が採用された。3 内務省は知事など地方官吏の人事権を握る一方で特別高等警察も直轄し、治安維持法の下で社会運動弾圧を担ったが、敗戦後の占領政策により特高は廃止され、警察法の制定により自治体警察・国家地方警察を設置した。また、地方自治法で知事など首長は公選となり、リコール制も定められ、地方自治体の民主的な行政が確保され、GHQの指令で内務省は解体された。4 戸主の家族に対する婚姻の同意権や居住指定権などが廃止されるなど戸主権の強い家制度が解体され、家族関係における男女間の不平等が廃止された。(398 字)